

科目名	建築製図 2							年度	2025
英語科目名	Architectural Drafting 2							学期	前期
学科・学年	建築学科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	田野 耕平	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】 建築設計実務に必要な図面（展開図、矩計図、他）を作図するためのスキルを身につける。									
【科目の概要】 ・展開図、矩計図、平面詳細図の見本をもとに、作図の手順に沿って、図面をトレースする。									
【到達目標】 A. 展開図の作図ができる B. 矩計図の作図ができる C. 平面詳細図の作図ができる									
【授業の注意点】 ・授業計画で設定された各ステージの提出物を提出して、担当教員の指導を受け、課題をまとめること ・図面のトレースは、製図板を使い手書き及びCADで行う。詳細は授業時間に提示する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	展開図の作図ルールを満足し、さらに独自の工夫がされ、図面の完成度が高い	展開図の作図ルールを満足し、図面が十分に作成できる	展開図の作図ルールを満足し、図面が作成できる	展開図の作図ルールを満足し、図面が一部作成できない	展開図の作図ルールを満足し、図面が作成できない				
到達目標 B	矩計図の作図ルールを満足し、さらに独自の工夫がされ、図面の完成度が高い	矩計図の作図ルールを満足し、図面が十分に作成できる	矩計図の作図ルールを満足し、図面が作成できる	矩計図の作図ルールを満足し、図面が一部作成できない	矩計図の作図ルールを満足し、図面が作成できない				
到達目標 C	平面詳細図の作図ルールを満足し、さらに独自の工夫がされ、図面の完成度が高い	平面詳細図の作図ルールを満足し、図面が十分に作成できる	平面詳細図の作図ルールを満足し、図面が作成できる	平面詳細図の作図ルールを満足し、図面が一部作成できない	平面詳細図の作図ルールを満足し、図面が作成できない				
【教科書】 授業中に資料を提示									
【参考資料】 授業中に資料を提示									
【成績の評価方法・評価基準】 成果物を総合的に評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		建築製図 2			年度	2025
英語表記		Architectural Drafting 2			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	キックオフ	課題説明	1 課題説明	課題内容を理解する	2	
2	展開図	展開図の作図法	1 展開図の説明	展開図の説明を理解できる	2	
3		展開図の作図	1 展開図の作図	展開図の作図ができる。	2	
4		展開図の作図	1 展開図の作図	展開図の作図ができる。	2	
5		展開図の作図提出	1 作図提出と確認	展開図の確認を受け提出ができる	2	
6		矩計図の作図法	1 矩計図の説明	矩計図の説明を理解できる	2	
7	矩計図	矩計図の作図	1 矩計図の作図	矩計図の作図ができる。	2	
8		矩計図の作図	1 矩計図の作図	矩計図の作図ができる。	2	
9		矩計図の作図提出	1 矩計提出と確認	矩計図の確認を受け提出ができる	2	
10		平面詳細図の作図法	1 平面詳細図の説明	平面詳細図の説明を理解できる	2	
11	平面詳細図	平面詳細図の作図	1 平面詳細図の作図	平面詳細図の作図ができる。	2	
12		平面詳細図の作図	1 平面詳細図の作図	平面詳細図の作図ができる。	2	
13		平面詳細図の作図	1 平面詳細図の作図	平面詳細図の作図ができる。	2	
14		平面詳細図の作図提出	1 平面詳細提出と確認	平面詳細図の確認を受け提出ができる	2	
15		講評会	まとめ	1 各図面の講評	各図面の講評を理解する	2

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等